

価値創造空間

KASOUKUKAN

詳しくは
こちら

未来を創る技術を見て・触れて・体感する 価値を創造する東レエンジニアリングブランドの 発信拠点

瀬田工場(滋賀県大津市)のショールームでは、メカトロファインテック事業を中心に、AIデータセンターやEVを支える半導体・バッテリー分野をはじめ、暮らしや産業を支える最先端技術・ソリューションを紹介しています。塗装装置や実装装置、検査装置、計測機器、ソフトウェアなどを展示し、製品の特長や導入事例を分かりやすく紹介。実機の操作体験やVRコンテンツでは、大型装置のスケール感や内部構造をリアルに体感でき、東レエンジニアリングのものがつくりが感じられるショールームです。



TRENG Support

工学系修士の“夢”をサポート!

修士研究応援

TRENG Support

工学系修士学生を対象とした寄付金制度で ものづくりの未来を担う若者たちの成長を支援

TRENGでは、工学系修士学生の研究を応援する寄付金制度「TRENG Support」を2023年より実施しています。

工学系教育を元気にしたい、という想いから設立されたこの制度は、寄付金の使い道が自由で結果報告義務、使用期限も無いことが特長です。審査基準は「社会的なインパクト」「独自性」「工学的価値」「表現力」の4つで、3人の有識者の審査により10件を選出し各50万円を寄付金として贈呈します。TRENGは工学系修士学生の「やる気」を応援します。



「TRENG Support」応募概要

応募期間：毎年5月から9月中旬

詳しくは
こちら

note



TRENG 各種メディア

TRENGサステナビリティページ



詳しくはこちら↓



YouTube コーポレートチャンネル



詳しくはこちら↓



YouTube TRENGの現場まると見せます。チャンネル



詳しくはこちら↓



note



詳しくはこちら↓



TRENG SUSTAINABLE SOLUTIONS

地球規模の 課題解決に挑む TRENGの先端技術

東レエンジニアリンググループは、
お客さまに提供する先端技術や製品を通じて
世界的な課題解決を実現する
「サステナブル・エンジニアリング」を提供します。
これにより、地球規模の課題の解決への貢献を通じた
「持続的かつ健全な成長」の実現を目指しています。

CN: カーボンニュートラル。エネルギーの消費量を削減することにより貢献します。
CE: サーキュラーエコノミー。資源の消費量を削減することにより貢献します。
NP: ネイチャーポジティブ。自然環境に配慮することにより貢献します。
LI: ライフイノベーション。安全や健康を維持・向上させることにより貢献します。
DI: デジタルイノベーション。デジタル技術の浸透により利便性や生産性の向上に貢献します。

Sustainable Engineering



01



半導体の性能と製造効率の向上に貢献

大型ガラス基板 (PLP) 向け塗布・実装装置

AIサーバー向け先端半導体パッケージでは、高性能化に伴う大型化により300mmウェーハでの製造効率低下が課題です。東レエンジニアリング(株)(以下、TRENG)のPLPは500mm超の大型パネルを用いて高性能化と製造効率向上を両立する技術であり、TRENGはPLP対応塗布・実装装置を通じて資源有効活用に貢献しています。



TRENG
第一事業部

PLPの実現に不可欠な高精度塗布・高精度実装技術を強みに、AI社会の発展と持続可能なものづくりの実現に取り組んでいます。

<特設HP>

詳しくは
こちら
→



<プレス>



<プレス>



02



養殖業の出荷率を向上！

養殖用途専用水質計 「MIAURA™」(ミオラ)

養殖用途専用の世界初の水質分析計です。稚魚の成育を左右する水環境の改善は、水産資源の養殖業界が抱える長年の課題でした。東レエンジニアリングDソリューションズ(株)(以下、TRENGD)の水質計は、水中のTOC(全有機体炭素。水中に残るエサやフンなど)を24時間365日計測することが可能で、汚れの数値化や、タッチパネルによる直感的な操作性が高く評価されています。



TRENGD

開発は水族館からのオファーがきっかけでした。飼育・養殖の担当者さんにとっての使いやすさを追求しています。

詳しくはこちら ↓

<note>



<プレス>



バイオマス設備の 点検・整備

東レ(株)の東海工場では2000年よりボイラー燃料をバイオマスに置き換えており、同工場のメンテナンスは東レエンジニアリング中部(株)(以下、TRENGC)が担当しています。バイオマス燃料は木材リサイクル品が中心で、くぎなどの混入により設備がダメージを受けることも。TRENGCは、異常の早期発見に努めながらCO₂排出量の抑制に貢献しています。



TRENGC

東レ(株)の皆さんと、木材リサイクル品以外のバイオマス燃料のテストも行っています。

<会社HP>

詳しくは
こちら
→



ボイラー燃料をバイオマスに

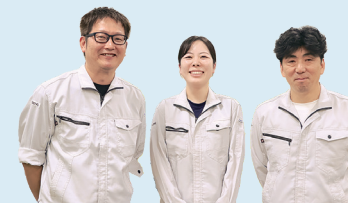


03

提案型

プラントエンジニアリング

お客さまのプラントの課題は、窒素酸化物(NO_x)を含む排ガス処理です。排ガスを無害化するために脱硝装置を設置しますが、除去には高温加熱が必要でCO₂が新たに発生します。そこでTRENGは、低温で脱硝可能な脱硝装置をお客さまにご提案。排ガスの加熱が不要となり、燃料消費の大幅削減を実現しました。



TRENG
プラント技術1部

お客さまにはさらに、排熱を回収し予熱に再利用する改善提案なども行っています。

<コラム>

詳しくは
こちら
→



低温脱硝装置の提案で CO₂排出量を大幅削減



04

安定的なエネルギー供給を実現

リチウムイオン電池 (LIB) のセル組立装置

LIBは自動車やバス、鉄道などの車載用以外に、停電発生時のエネルギー供給源として医療・介護・福祉施設や企業のBCP(事業継続計画)対策でも重要視されています。TRENGの装置は製造の後工程におけるセルの組立工程を担います。材料を最後まで使い切れるよう設計しており、資源の活用で廃棄物の削減に貢献しています。



TRENG
FA技術部

高い安全性や長寿命のLIBがTRENGの装置で作られています。

<会社HP>

詳しくは
こちら
→



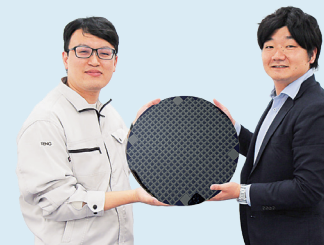
05



半導体製造工程の 廃棄物を削減

光学式半導体ウェーハ検査装置 「INSPECTRA®」

東レエンジニアリング先端半導体MIテクノロジー(株)(以下、TRENGMI)が開発する「INSPECTRA®」は、スマートフォンなどに使用される半導体素子製造の材料となるウェーハの検査装置です。同製品は独自のアルゴリズムにより高精度かつ高速の全数検査を実現しており、早い段階で不良品を発見し後工程のロスを少なくすることで、廃棄物とエネルギー消費のロスを食い止めています。



TRENGMI

PLP向け検査技術も開発。ガラス製のため微細なひび割れなどの不良品も検査しています。

詳しくはこちら ↓

<コラム>



INSPECTRA®
SR-IV



06

